

雪氷研究大会・講演要旨集フォーマット —副題はここに—

○雪氷太郎¹, 雪工次郎², 大雪花子³

1. はじめに

この文書は雪氷研究大会の講演要旨集のフォーマット(ひな形B)です。縮小はせず、A4判で印刷製本します。

予稿には、研究の目的、方法、結果を明確にわかりやすく記述して下さい。記述が不十分なものは掲載を認めない場合があります。学術誌ですから企業などの宣伝行為と見なされないよう、表題、本文、図表、写真の表現に注意して下さい。特殊なフォントは印刷できないことがありますので、一般的なフォントを使用して下さい。特殊なフォントがどうしても必要な場合はPDF作成の際にフォントを埋め込んで下さい。

2. 用紙

予稿はA4判用紙1ページで作成して下さい。大会ホームページからひな形(MS-Word形式)をダウンロードしてお使い下さい。本大会では、2段組と1段組の2種類の書式を用意しています。お好みの書式をお選び下さい。また各々の書式について、著作権表示が日本雪氷学会のものと日本雪工学会のものを用意していますので、著作権を移譲したい学会のひな形をお使い下さい。

3. 原稿の書式

余白は変更しないでください。ひな形Bは、本文の文字は10ポイントの明朝系フォント、1行50文字、1ページ44行の設定です。図中の説明においても、5ポイント未満の小さな文字は避けて下さい。行間は、演題部14ポイント、本文1行の設定です。第1行目に演題(12ポイントのゴシック系フォント)、副題が必要ななら2行目に10.5ポイントで記述して下さい。発表者名は明朝系フォントで中央に書き、連名の場合は講演者名の前に○印を付けて下さい。発表者各々の右肩に1,2のように数字をつけ、フッターに対応する所属を記して下さい。発表者名と本文の間は1行空けて下さい。

見出しは行頭から『1. はじめに』のように書き、小見出しが必要なら『1.1 小見出し』のようにして下さい。見出しにはゴシック系、小見出しと本文には明朝系のフォントを使用します。ヘッダー・フッター内の改行幅は10ポイントとします。フッターの1行目には本文と区別するための罫線を引き、次の行から所属を左側に書きます。所属が3ヶ所以上の場合は必要なだけフッターを拡張し本文のマージンを削って下さい。フッターの右下には著作権表示があります。図・写真および表は自己のオリジナルなものとし、白黒印刷することを考慮して、鮮明なものとして下さい。要旨集のPDF化に伴い、カラーの図・写真も受け付けます。なお、写真は図として扱います。参考文献の一覧を記す場合は、以下の例にならって引用順に番号を付け、本文の末尾に、著者名(発行年): 文献名、雑誌名、巻(号)、開始ページ-終了ページ。の順に記述して下さい。ハイパーリンクの埋め込みは著者責任でお願いします。

4. 投稿要領

予稿はPDFファイルに変換し、大会ホームページの「研究発表登録」から投稿してください。

参考文献

- 1) 伊豆田久雄, 生頼孝博, 山本英夫, 1988: 凍土の曲げ条件下における変形挙動と強度特性. 雪氷, **50**(1), 25-32.
- 2) Pedley, M., J. G. Paren and J. R. Potter, 1988: Localized basal freezing within George VI Ice Shelf, Antarctica. *J. Glaciol.*, **34**, 71-77.

1 雪氷大学大学院理学研究科
2 雪氷工業大学雪氷環境工学科
3 雪氷大学文学部